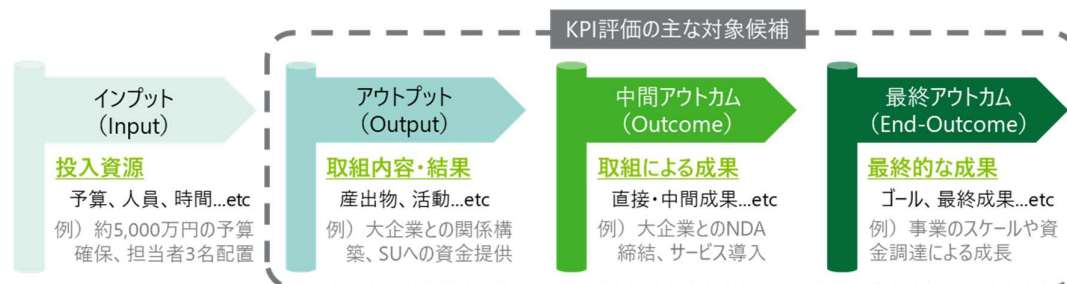


## KPI の設定及び協定金の支払いについて

### 1 KPI 項目の設定方法

協定事業者は、応募時に原則 1 年 6 か月の事業計画に係るアウトカム KPI 及びアウトプット KPI を設定します。アウトカム KPI 及びアウトプット KPI の設定イメージは下図を参照してください。

#### 【KPI 評価の対象となる項目】



#### (1) アウトカム KPI

アウトカム KPI は、協定事業の実施による成果、効果に係る指標を指します。アウトカム KPI については、東京都が策定した「Global Innovation with STARTUPS」に掲げる目標（10×10×10）の達成に資する内容で設定してください。

アウトカム KPI は成果報酬額である上限 1 千万円（重点分野は 2 千万円）に紐づくものとし、見積額は、KPI 項目の内容や数にかかわらず、全体で一律 1 千万円（重点分野は 2 千万円）とします。

設定するアウトカム KPI の項目及び目標数値については、様式 3 「KPI 設定説明書」により提出してください。

ただし、1 つのアウトカム KPI について、重点分野についてのものとそれ以外についてのものとで構成される場合は、企画書にその内訳等について記載してください。

なお、取組内容やアウトプット KPI の大幅な変更につながるため、アウトカム KPI の見直し・再設定は原則として不可とします。

#### (2) アウトプット KPI

アウトプット KPI は、取組の実施に係る指標を指します。(1)で設定したアウトカム KPI の達成のために実施する取組について設定してください。また、KPI 項目ごとに、取組の実施に要する費用等を踏まえて協定金の額を見積るとともに、その見積り方について説明してください。

設定するアウトプット KPI の項目及び目標数値、見積額については、様式 3 「KPI 設定説明書」により提出してください。ここで、設定したアウトカム KPI とアウトプット KPI の関係性を詳細に把握・評価するため、協定事業以外にもアウトカム KPI の達成に資する取組を実施している場合は、同様に「KPI 設定説明書」における「KPI 項目」に記載してください（見積額の設定は不要です）。

また、見積額は、アウトプット KPI に係る基準額の上限である 4 千万円を超えて設定することができませんが、東京都が支払うアウトプット KPI に係る協定金の額は基準額と同様に 4 千万円が上限と

なります。

様式3「KPI 設定説明書」の記入にあたっては、以下の点に留意してください。

ア 既存の取組

既存の取組は協定金の支払い対象となる取組ではありませんので、「協定金見積額」には「既存取組」と記入してください（見積額は設定しないでください）。

イ 協賛金や利用者負担金等の収入

協定事業において協賛金や利用者負担金等の収入を計画する場合には、その金額を「資本・財源」の「協賛金等」に記入してください。

なお、アウトプット KPI は、事前に都の承認を得た場合に限り、見直し・再設定することができます。ただし、下方修正は原則不可とし、見直し・再設定する理由等の説明が必要となります。

【KPI の設定例】

取組内容	アウトカム（例示）	定性（例示）	アウトプット（例示）
海外展開	アウトバウンドを行った企業数	どんなエリアに展開できたか	メンタリング
資金調達	調達金額	どこから調達したか	ピッチイベント
アントレ・イントレ	創業数	競合優位性はあるか	講座の運営
採用支援	新規採用者数	どのようなポストを採用できたか	広報・PR支援
販路開拓支援	業務提携数	相手企業の規模	マッチング商談

## 2 協定金決定までの流れ

### (1) 基準額の算定

東京都は、協定事業として選定した取組について、応募時の見積額と審査委員会による審査結果に基づき、次のとおり基準額を設定します（アウトプット KPI の見積額と異なり、KPI 項目ごとではなくアウトプット KPI・アウトカム KPI それぞれについて設定します）。

- ① アウトプット基準額は、KPI 項目ごとに、見積額から審査委員会において不適当とされた額を除いた額の合計と、4 千万円（重点分野の場合は 8 千万円）のいずれか低い額とします。
- ② アウトカム基準額は、アウトカム KPI に係る審査の観点「 $10 \times 10 \times 10$ 」に資する KPI となっているか」に対する審査委員会による審査結果（得点）に連動して、「1 千万円（重点分野は 2 千万円） $\times$ 得点 $\div$ 審査基準上の配点」の算式によって算出される額とします。

### (2) 評価額の算定

協定金の支払いにあたり、東京都は、四半期に一度開催する外部有識者を含む KPI 評価委員会により各 KPI 項目の達成状況等を確認し、協定期間終了時の KPI 評価委員会による評価をもって、協定金の額を決定します。

金額が決定された協定金は、原則として協定期間終了後に一括払いにより支払います。

- ① 協定事業終了時の KPI 評価委員会において、アウトプット KPI・アウトカム KPI の達成状況を定量的に評価し、KPI 項目ごとにその達成率（それぞれ 100% を上限とします。）を算出します。
- ② アウトプット KPI について、KPI 項目ごとに「見積額 $\times$ 達成率」の算式により得られる額を合算した額と、アウトプット基準額（※ 2 (1) ① を参照）のいずれか低い額をアウトプット評価額とします（アウトプット評価額がアウトプット基準額を上回ることはありません。）。
- ③ アウトカム KPI については、KPI 項目ごとに「アウトカム基準額（※ 2 (1) ② を参照） $\div$ KPI 項目数 $\times$ 達成率」の算式により得られる額を合算します。

ただし、重点分野として選定された取組において、結果として達成内容に重点分野に係るものが含まれなかった KPI 項目がある場合は、当該 KPI 項目について、上記式に「 $1/2$ 」を乗じることとします（基準額 $\times 1/2 \div$  KPI 項目数 $\times$ 達成率）。

- ④ ③で得られた額に、アウトカムの社会的なインパクト等の定性評価を加えて、アウトカムに係る最終的な評価額を算定します。ただし、このアウトカム評価額は 1 千万円（重点分野は 2 千万円）を上限とします。
- ⑤ ②で得られたアウトプット評価額と、④で得られたアウトカム評価額を合算して、協定金の額を算定します。

### (3) 中間払いについて

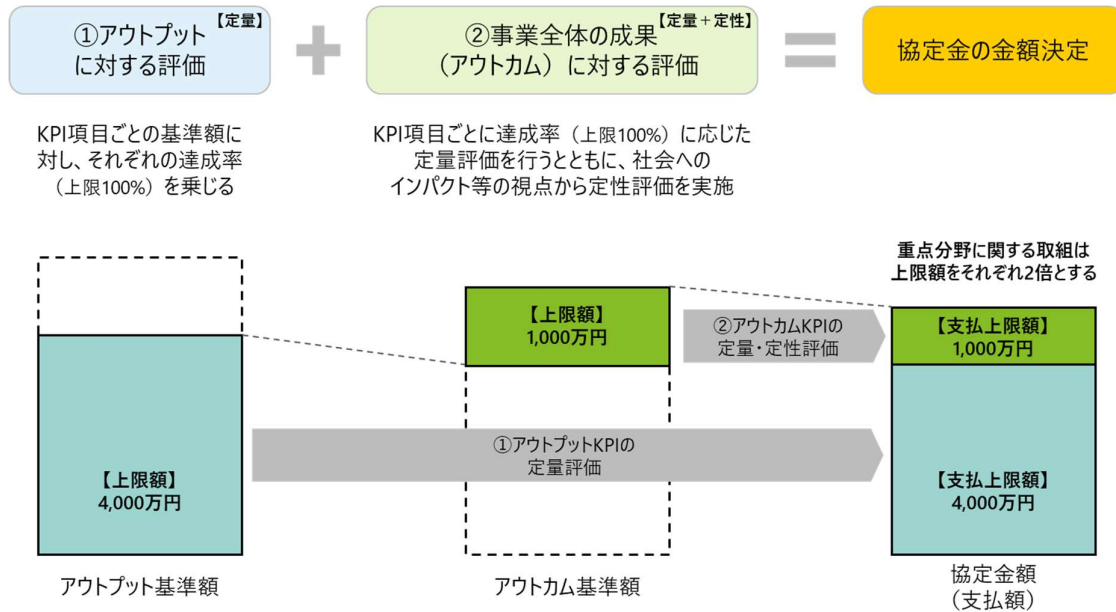
協定事業者が求める場合、令和 6 年度中に 1 回を上限に協定金の中間払いを行います。協定事業者は、中間払いの対象とする実績の時点についての希望を、あらかじめ応募時に様式 3「KPI 設定説明書」へ記載してください。

中間払いの金額は、この協定事業者が希望した時点における実績について、KPI 評価委員会において確認の後に、アウトプット KPI の達成率に応じて確定します。

すなわち、中間払いの対象となるのはアウトプット KPI に基づくもののみで、アウトカム KPI に基づく成果報酬金額は対象となりません。また、中間払いの対象となる時点以降の実績に係る協定金の金額については、成果報酬金額と同様に、事業終了時に開催する KPI 評価委員会において確定します。

上記に基づく評価結果と協定金支払額の紐づけ及び評価実施手順のイメージ等は次のとおりです。

#### 【協定金の内訳及び各 KPI 項目との関連性】



#### 【アウトカム KPI の評価イメージ】

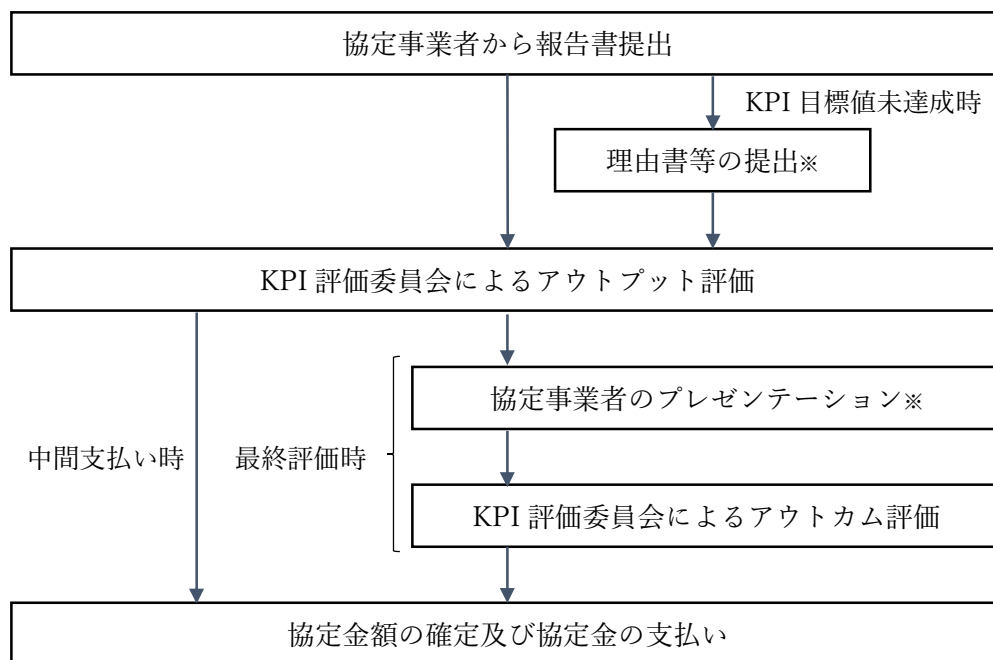


## 【定量評価のイメージ】

KPI				定量評価			
区分	内容	件数	見積額 (万円)	実績件数	定量評価額 (万円)		
アウトプット	●●を実施	1,000 人	1500	600 人	$1500 \times 0.6 =$	900	
	●●を実施	10 件	200	3 件	$200 \times 0.3 =$	60	
	●●を実施	100 施設	700	120 施設	$700 \times 1 =$	700	
	●●を実施	5 億円	1000	3 億円	$1000 \times 0.6 =$	600	
	●●を実施	60 社	600	75 社	$600 \times 1 =$	600	
アウトカム	〇〇の実現	20 件	1000	10 件	$500 \times 0.5 =$	250	
	〇〇の達成	30 件		45 件	$500 \times 1 =$	500	
			合計				合計 3610

算定方法は下記の通り  
 アウトプット：見積額×達成率  
 アウトカム：基準額÷KPI項目数×達成率

## 【協定金額決定までの流れ】



※状況に応じて求める場合があります。